



## 今月の特集

## CAD/CAM vs e-max

日頃のブラッシングやメンテナンスを行っていても、残念ながら虫歯になってしまうということは少なくありません。歯の保存のため虫歯治療を行います。治療の際に開けた穴を塞ぐ手段として、詰め物（インレー）や被せ物（クラウン）を用います。



詰め物  
インレー



被せ物  
クラウン

以前のニュースレターでも、CAD/CAMという新しい保険適応の被せ物について特集してきました。



## 「保険適応で白い歯になる!」

シュンデンタルクリニックでも保険適応であるCAD/CAMを選択される方が多くなりました。

その反面、自由診療となるe-maxも選択される方がいらっしやいます。

「お金に余裕があるから?」とお考えになるかもしれませんが、同じ白い歯でも「似て非なるもの」。

両者のメリットを知っていただき最善の選択をしていただきたいと思います。

		CAD / CAM	e-max
①	素材	簡単にいうとプラスチック	セラミック・ガラスのハイブリッド
②	虫歯再発のリスク	高い	低い
③	作業工程	完全機械化	熟練の職人手作業
④	値段	安価(保険適応)	高価(自由診療)
⑤	対合歯にかかる負担	少ない	普通～やや高い
⑥	破損の可能性	高い	稀
⑦	製品保証	なし	あり

細分化してもっとお伝えしたいことはあるのですが、専門的な内容になるため、簡単に表にまとめさせていただきました。

e-maxが高くなってしまうのは、主に③が理由です。

### 普通の生活に例えると・・・

「今日は何を食べた?」と聞かれ、100円で買えるカップ麺のラーメンを食べても、専門店の1000円のラーメンを食べても、「ラーメン」と答えることに似ています。同じラーメンを食べたのに、CAD/CAMはカップ麺。e-maxは専門店のラーメン。専門店によってもラーメンは良い悪いがあるでしょう。それは歯科技工士の腕の違いによるものです。

Q「虫歯治療で何詰めたの?」 A「白い詰め物だよ」と答えるときに、**白い何を詰めたのか**が重要になります。



カップ麺  
CAD / CAM

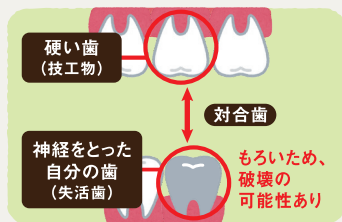


専門店のラーメン  
e-max

特に②については、**2次カリエス**と言って、過去に歯科治療を行った部位に、**再度発生する虫歯**のことです。このリスクが高いということは、すなわち、また歯を削らなければならなくなり、その結果保存することができずに抜歯につながります。虫歯の再発は、次の治療の選択肢として抜歯の可能性が控えているということになります。



## 「安かろう悪かろう」なのか？



例えば、虫歯になった歯と相対する歯(対合歯)が、過去に虫歯になり神経をとった歯(失活歯)だった場合は、すでに対合歯がもろくなっているため、強度が強くて硬い歯と向き合くと、対合歯が持たないということもあります。**e-maxを入れた歯は保存できるかもしれませんが、もろくなっている対合歯を破壊してしまうこともあるのです。**そういう観点からすると、CAD/CAMが一概に安いだけのものではないということにもなります。

⑥・⑦については、どちらも人工物のため、破損・破折という可能性が十分に考えられます。「形あるものいつかは壊れる」です。ただ技術の進歩で、その「いつか」が長くなってきています。歯科医院に通うことは、時間がかかりますし、せっかくのお休みや仕事の合間を縫って通院していただく方もいらっしゃいます。医院として極力早く対応し、長く使っていただけることを前提とすると、**e-maxの方が優位となります。**また、一回でセット(取り付け)できるのは、技工士の熟練の技あつてのものです。機械による製作だと、形が合わないということもしばしばあり、再度のご来院をお願いすることもあります。また、**e-maxについては製品保証もあります。**

## スマホと自由診療

毎年新しいiPhoneがAppleから発売され、スマホを2~3年で交換される方も多いはずです。スマホの金額は現在10万円を超えています、必要だから購入するという方も多いのではないのでしょうか？ 10万円を超えるものをなぜ短いサイクルで買い替えるかを聞くと、「毎日使うから」という回答が多いのですが、歯はどうでしょうか？ 毎日使っていませんか？

どちらも毎日  
使っているもの



プラスチックでできたスマホと、合金で作られたしっかりとしたスマホ。どちらがしっくりくるでしょう？ 「e-maxはスマホより安く、スマホよりも長く使える歯なのです。」と考えると、……

自由診療の歯は高いだけではなく、高いにはそれなりの理由があるということをぜひ皆さまにお伝えたく、今回はこのような記事として掲載してみました。ぜひご検討の選択肢としてみてください。また、素材や詳しい内容についてはお気軽にスタッフまでご相談ください。



## シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>